

週間感染症情報

2023年16-18週 2023年4月17日より2023年5月7日まで

16週 17週 18週

麻疹			
風疹			
水痘(みずぼうそう)	1		
ムンプス(おたふくかぜ)			
百日咳			
溶連菌感染症	7	2	3
手足口病	1		
ヘルパンギーナ		2	1
伝染性紅斑	1		
感染性胃腸炎	33	46	18
ロタウイルス(再掲)			
便アデノウイルス(再掲)			
突発性発疹		3	4
伝染性膿痂疹(とびひ)	1	1	1
ヘルペス性口内炎			
アデノウイルス感染症	1	2	1
RSウイルス感染症	1	5	1
マイコプラズマ感染症			
ヒトメタニューモウイルス			
インフルエンザ	79	63	24
インフルエンザ A	79	63	24
インフルエンザ B			
新型コロナウイルス感染症	8	6	5

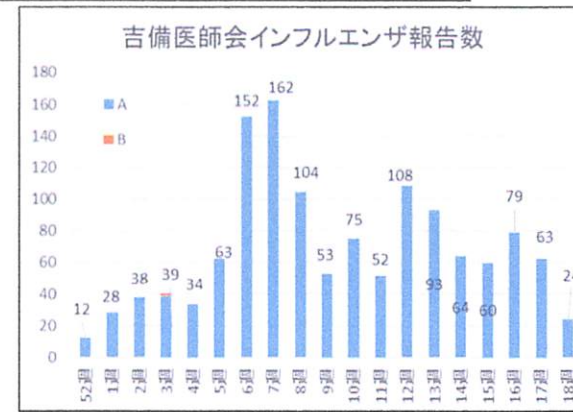
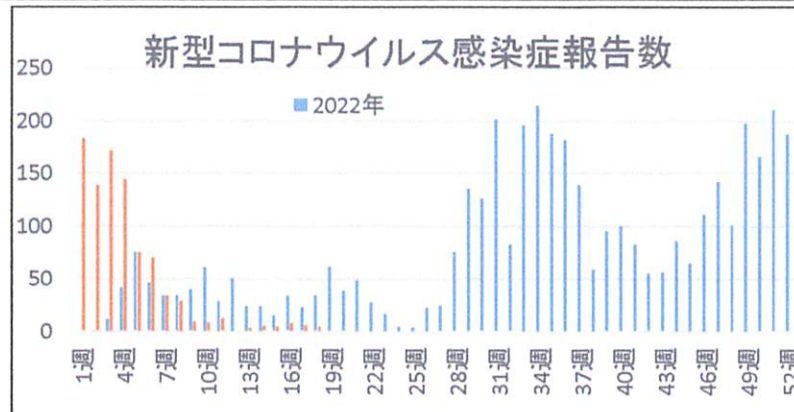
遅くなりましたが、16週から18週の3週間の報告です。18週は連休中でしたので休診日があり報告数は減少しています。発熱外来の受診者は減少しています。新型コロナウイルス感染症の検査陽性率は高くありませんが、報告は続いています。5月8日より五類に移行して、毎日の報告はなくなりました。この感染情報のコロナの報告数は、総社市内小児科関連4診療所の内科患者を含めてのまとめです。市内流行状況がある程度反映していると思います。現在落ちついた状況ですが、コロナは終わったわけではありません。必ず次の波が来ます。

インフルエンザAの報告が続いています。こちらの報告数は吉備医師会の先生方の報告をまとめています。コロナ対策で抑えられていたインフルエンザが、小児や高校生で集団感染を起こしています。インフルエンザに対して免疫を持っていない世代の増加や感染対策のゆるみも関係していると思います。マスク着用していた中学校では感染拡大はありませんでした。マスクをほとんど着用していない小学2年生のクラスでは多くの児童が感染し学級閉鎖になりました。

体調不良の場合は休むことが一番大切です。また、周囲で感染症の流行時は、できるだけマスクを着用しましょう。焼き肉関連の細菌性胃腸炎をみかけます。病初期は高熱・頭痛でコロナとの鑑別が必要になる場合もあります。

麻しん患者の新幹線での移動で二次感染者が出ています。1歳になったらすぐにMRワクチンを接種しましょう

小児の予防接種率の低下が心配です。コロナも含めてワクチンで予防できる病気はワクチンで防ぎましょう。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyakenaika.com>)